



川西明峰 グローバルキャリア で、「私」は「世界」を 創る



GLOBAL CAREER



川
西
明
峰

兵庫県立川西明峰高等学校 グローバルキャリア類型 学校案内



2026

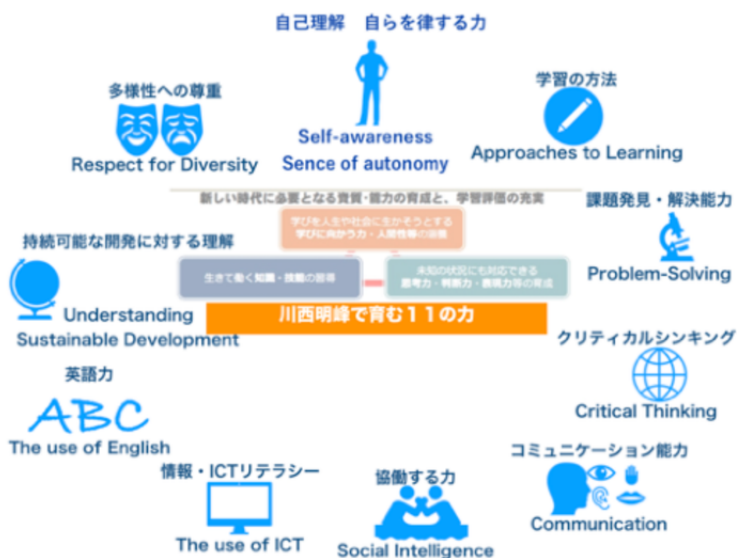
◆Our Mission

15年間の中で頑張ってきたものを、グローバルな視野をもって、もっともっと輝かせたい。
兵庫県立川西明峰高校グローバルキャリア類型は3年間かけて、これらの想いに応えます。
ユネスコスクールだからこそできる海外や地域とつながる豊富なプログラム、そしてICTの力で、国際的な視野を持って世界で活躍したい生徒のグローバルキャリアを実現します。

2025年度 活動実績

オープニングセッション

特色選抜で入学した1年生を対象に、総合的な探究の時間に実施しました。SDGsを学び、英語とICTの運用能力を育みました。



フィリピン・セブ島研修旅行

現地の状況を実際に目にすることで世界の現状を身近に感じることができ、視野が広がった研修旅行となりました。
(2026年度以降の実施は予定しておりません)

ESD発表会

キセラホールにて、全校生徒や地域の方に向けて探究成果を発表しました。

姉妹校交流

オーストラリアの姉妹校が来校し、日本文化体験や、共に母語を教え合う授業を実施しました。1日バディーとなって行動し親交を深めました。

校内留学体験

川西市のALTや様々な大学から留学生をお招きし、英語を使ったアクティビティや日本文化体験型プレゼンテーションを実施しました。

◆Admission Policy

兵庫県立川西明峰高等学校 グローバルキャリア類型では、各生徒の関心ごととSDGs（持続可能な開発目標）とを結びつけ、グローバル社会で生起する諸課題を深い人間理解と他者への共感を持って解決する、持続可能な社会の担い手を養成することを目的としています。そのために、次のような生徒を求めています。

グローバルキャリア類型の求める生徒像

- (1) 授業を中心としたあらゆる教育活動に主体的に取り組み、学校・学年の代表を担う生徒
- (2) 国内外を問わず様々な人と連携・協働し、積極的にコミュニケーションを行う資質を有する生徒
- (3) 人文・社会科学における基本的な理解を深め、論理的思考力を鍛えることにより、科学的に考察し、英語とICTを用いて表現する能力や態度を身に着ける意欲のある生徒

◆GC類型の授業の特徴

- (1) Team Teachingによる丁寧で充実した授業
- (2) ICTの活用
- (3) 多言語教育（英語・韓国語・インドネシア語等）
- (4) 留学体験（対面交流・オンライン交流）
- (5) 校内外での発表を見据えた探究基盤の課題研究



GCⅠ・Ⅱ GC類型生徒のみに開講される授業

英語やICTを用いて、ディスカッションやプレゼンテーションを中心とした主体的、対話的な授業を実施しました。



多言語学習

外部から講師をお招きし、韓国語・インドネシア語の学習をし、それぞれの国の文化について学びました。



インターンシップ

地域の飲食店や介護施設、商業施設などでのインターンシップを通して地域との関りや社会について体験的な学びを実施しました。



甲南大学リサーチフェスタ

甲南大学のイベントに参加し、探究成果の発表を行いました。2025年度はオーディエンス賞を受賞しました。



大阪・関西ASPnet学び合い

関西のユネスコスクールが集まって様々な立場の人と考え方を交換しあう会に参加しました。

「協力と成長」

48回生

大阪成蹊大学 教育学部 初等教育コース
(伊丹市立北中学校出身/GC類型)

川西明峰高校での三年間を振り返ると、僕はボランティア活動とプレゼンテーションの二つの面で大きな成長を感じています。まず、ボランティア活動では高校二年生の時に防災ジュニアリーダーという活動に参加しました。活動内容は、他校の防災ジュニアリーダーと防災についての意見交流をしたり、生徒の防災意識を高めるための施策を考えて実行したりすることが主な活動です。この活動を通して、仲間と話し合って協力し、一つのプロジェクトを成功させるという貴重な体験をすることができました。放課後遅くまで残り、みんなで協力して作成したものが多くの人に楽しんでもらえることがとても嬉しく、頑張っていた良かったと感じました。

プレゼンテーションでは、ただ発表をするだけでなく、誰が聞いてもわかりやすいことを心がけて作成することの重要性を学びました。僕は特色選抜入試で明峰高校に入学し、一年生からGC類型に所属していました。GC類型の授業ではプレゼンテーションを作成し、発表するという活動をたくさん行います。初めて作成したときは、わかりにくい言葉が多かったり、スライドに文章が多く見にくかったりと、相手に伝わりにくい発表をしていました。しかし回数を重ねるたびに、少しずつ短時間でわかりやすい発表を作成することができるようになりました。さらにESD発表会では三年間、毎年発表を行いました。そのため全校生徒に伝わるように工夫しながらプレゼンテーションを作成する力を学ぶことができました。この力は大学受験の面接でも発揮され、落ち着いて自分の言葉で話すことができ、合格を手にすることができました。

このように明峰高校の三年間を通して、仲間と協力することの重要性と、人前でわかりやすく自分の言葉を伝える方法について学びました。この経験を活かし、自分の夢に向かってこれからも努力し続けていきたいと思います。

◆令和4年度よりユネスコスクールに正式加盟

ASPnet(ユネスコスクール)の正式メンバーとして、国内外でESDに取り組んでいる学校や諸機関との連携を通して、普通の学校では参加できないイベントや交流に明峰生は参加することができます。詳細は本校HPをご覧ください。

HP



Blog



◆グローバルキャリア類型へは特色選抜で

- (1) 2月に、小論文(日本語)・面接(日本語)・実技検査(英語)を行います。
- (2) 入学後は、3年間グローバルキャリア類型で学びを深めます。

◆行事日程

- ・7月22日、11月14日（オープンハイスクール）
- ・10月3日（特色選抜入試説明会）、10月27日（公開授業）

GC類型 9期生	Think Globally, Act Locally.	私は複数志願選抜で川西明峰高校に入学しました。そして特色で入学していた友人からGC類型のことを聞き、外国の方とコミュニケーションをとる機会が多いことや、異文化を学べることに魅力を感じ、2年生から所属しました。 最初は外国の方と交流する機会はそれほど多くないと思っていましたし、もともと英語が話せたためコミュニケーションは簡単だと思っていました。しかし授業が始まると、アメリカの高校とのZoom交流や大学の留学生との交流会、姉妹校であるオーストラリアの学生の来校など、想像していた以上に外国の方と話す機会が多く驚きました。さらに英語だけでなく、インドネシア語や韓国語などの言語や文化について学ぶ授業もあり、異文化を知ることができる面白い授業が多いと感じました。 交流を重ねる中で、自分の語学力はまだまだだと実感しました。しかし多くの人が私の話を理解しようとしてくれました。国が違っても言葉が通じた時は嬉しかったですし、来校した留学生の方と友人になれたことも私にとって大切な経験です。これらの経験から、言語力だけでなく、自分から勇気を出して話しかけるコミュニケーション力が重要だと学びました。ぜひGC類型に入って、コミュニケーション能力を磨いてみてください！ 川西明峰48回生・尼崎市立小田中学校出身 / 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 アジア太平洋学科
GC類型 8期生		僕は高校2年生からGC類型に所属しました。GCに入ろうと思ったきっかけは、ただ友達と「面白そうだから入ってみーひん？」というちょっとした気持ちでした。しかしGC類型に入りその活動を通して、僕は数えきれないほどの変化を実感することができました。 一番変化を実感できたのはフィリピン・セブ島海外研修でした。現地に行って日本との安全性、生活するための物の充実度など何もかもが違うことにとても驚き、言語も文化もこんなにも違うものなのかという初めての体験ができました。そこで僕の考え、価値観が大きく変わりました。 そのほかにもGCでは色々な活動を直に経験することができます。「こんな話を聞いた！」ではなく「こんなことをした！自分でやってみた！」ということが出来るのがGC類型だと思います。GC類型では自分の個性を見つけることができます！GC類型での活動を経験したこと、僕の進路は海外大学進学へと大きく変化しました。高校に入った時は普通に日本の大学に行くものと思っていたのですがGC類型に入ったおかげでもっと色々な文化や言語、価値観を直で経験したいと思ってこの決断をしました。GCでは授業だけではなく仲間からも刺激をもらうことができます。こんなことができるのは明峰だけだと思うので 皆さんぜひGC類型で挑戦してみませんか？ 川西明峰47回生・川西市立清和台中学校 / SunwayUniversityBachelorofScienceinInternationalHospitalityManagement
GC類型 7期生	グローバルキャリアとは。	私は2年生からGC類型に所属しました。GC類型に入って良かったと思うことが三つあります。 一つ目は異文化交流ができる機会の多さです。GC類型では積極的に海外からの留学生を明峰高校に呼んでいます。実際に交流することを通して、英語でコミュニケーションを取ったり一緒にゲームをしたりして仲良くなることができました。二つ目はパソコン作業が多いところです。パソコンを使って資料を探したりスライドを作って発表をしたりする機会が多くあります。大学に入っても活きるスキルを学ぶことができました。三つ目は進路についてじっくり話をするができる点です。授業中でも個人で面談する時間が設けられているため進路のことや勉強で不安に思うことなど、いろいろな面でサポートをしてもらいました。一人ひとりにどの大学が合いそうであるか、おすすめの大学や学部など選択肢を広げてくれました。 GC類型に入ってよかったことは他にも色々あります。実際にGC類型に入って体感してみてほしいと思います。 川西明峰46回生・伊丹市立西中学校出身 / 大阪経済大学 国際共創学部
GC類型 6期生		3年前の春、僕はやりたいことも、行きたい学校もないまま、ただ近いからというだけで川西明峰高校に入学しました。やる気のないこの僕が志望校に合格して自分の進む道を見つけられたのは、川西明峰高校でいろいろな人に支えられたからだと思います。 明峰高校は一言で言うなら、自主性を大切にしている学校だと思います。先生方は勉強であれ、部活であれ、無理強いすることはありません。生徒たちの「やりたい」「挑戦したい」という気持ちに真摯に向き合ってくださいし、上下関係ではなく、対等の関係で接してください。そのため、普段の授業はアットホームな雰囲気、安心して勉強することができました。特に、三年生での選択科目は徹底された少人数授業で、生徒の「学びたい」という意思を尊重してくれる授業を受けることができ、私の目標に合わせたアドバイスを日々受けることができました。 明峰生は、いろいろな願いや背景をもって入学してきます。その僕ら一人一人に粘り強く親身になって支えてくれる先生方。そんな先生方がいる明峰高校で、新しい未来を築いてみませんか？ 川西明峰45回生・川西市立明峰中学校出身 / 大阪公立大学 経済学部経済学科
GC類型 5期生		私は複数志願選抜で川西明峰高校へ入学しましたが、もっと英語を使って海外とつながり、自分の世界を広げたいと考え、2年生ではGC類型を選択しました。 GC類型に入ってから最も印象に残っているのは甲南大学主催のリサーチフェスタという探究発表会です。ここでは、世界の諸課題に対して自分達には何ができるか、大学の教授や他校の高校生に向けてプレゼンテーションを行いました。問い立てから自分たちで行い、先生方のアドバイスをいただきながら探究活動を進めていきました。探究活動を行い始めた頃は、自分一人で行えることには限界があると思っていたのですが、いつしか「自分の力でどこまで世界に影響を与えられるのか知りたい」という想いに変わっていました。また、どのようにプレゼンテーションを行うかグループメンバーと意見交換するうちに、身振り・手振り、言葉選びなど相手に伝えるパフォーマンス能力も学びました。 受験では、これらの経験から学んだことを存分に伝えられるよう最後まで自分自身と向き合いました。無事第一希望である高知工科大学に合格できたのは、GC類型を選択して、新しい発見や、学びに溢れた学校生活を送ることができたからです。 川西明峰44回生・伊丹市立北中学校出身 / 高知工科大学 経済マネジメント学群